

2025 年 12 月 30 日 (火) 【外為 L a b】松田哲

タイトル: 【今日は、12 月 30 日】

今日は、12 月 30 日。

今年 (2025 年) も、今日を含めて残り 2 日だ。

今年 (2025 年) のドル／円を振り返ると、年初 (2025 年年頭) は、157 円程度で始まった。

2025 年 1 月半ばに、ドル／円はこの年 (2025 年) の最高値 158 円台後半を付けた。

そして、そこ (158 円台後半) から大きく下落している。

下落の途中で、少し調整のリバウンドをする場面もあったが、2025 年 4 月下旬に至るまで、大きく下落を続けた、と言って良い。

2025 年 4 月下旬に、ドル／円はこの年 (2025 年) の最安値 138 円台後半を付けた。

最安値 138 円台後半を付けてからのドル／円は、上下動を繰り返しながら、徐々に上昇した、と言って良い。

この徐々に上昇した期間は、2025 年 4 月下旬から 10 月初め頃まで。

2025 年 4 月下旬の 138 円台後半から、この期間の高値 150 円台程度までのゾーンで、下値を切り上げるように動いた。

2025 年 10 月初めに付けた安値 146 円台からは、ドル／円の上昇スピードが加速した。

2025 年 11 月下旬に付けた高値 157 円台まで、約 2 か月で 10 円以上の上昇となった。

2025 年 11 月下旬から今年 (2025 年) の終わりまでは、安値 154 円台、高値 157 円台でのボックス相場 (持ち合い相場)、と言って良い。

総じて言うならば、今年 (2025 年) のドル／円は、157 円程度で始まり、138 円台後半まで大きく下落して、その後、大きくリバウンド (反発上昇) して、元の水準 (157 円程度)

に戻った、と言えよう。

+++++

来年（2026 年）の年初に関しては、今年（2025 年）の後半の流れを引き継いで、ドル／円は、上昇傾向を保つだろう、と考えます。

それは、以下の理由によるものです。

日銀は、今月（2025 年 12 月 19 日）の金融政策決定会合で、政策金利を 0.5%程度から 0.75%程度へ利上げすると決定した。

この日（2025 年 12 月 19 日）、日銀が利上げたにもかかわらず、マーケット（外国為替市場）は、むしろ「ドル買い円売り」に動いた。

マーケット（外国為替市場）は、利上げ後の円金利（政策金利 0.75%程度）でも、日銀の利上げは十分ではないと判断しているのだ、と考えます。

換言すれば、現状程度の利上げでは、日本のインフレは収まらない、と判断しているのだ、と考えます。

マーケット（外国為替市場）は、日銀のさらなる利上げを催促しているのだ、と考えます。

以上のように考察すると、当面のところ、ドル／円の上昇傾向は維持される、と考えます。

+++++

+++++

（2025 年 12 月 30 日東京時間 12：45 記述）